



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月7日

上場会社名 リンテック株式会社 上場取引所 東
コード番号 7966 URL <https://www.lintec.co.jp>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）服部 真
問合せ先責任者（役職名）取締役常務執行役員管理本部長（氏名）柴野 洋一（TEL）03-5248-7713
半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 2024年11月29日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	158,476	20.3	13,687	329.1	14,266	231.8	10,814	449.9
2024年3月期中間期	131,735	△8.8	3,190	△67.4	4,299	△64.5	1,966	△77.6

（注）包括利益 2025年3月期中間期 21,654百万円（110.6%） 2024年3月期中間期 10,280百万円（△55.3%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	158.07	158.00
2024年3月期中間期	28.76	28.74

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	346,953	251,703	72.3
2024年3月期	333,642	232,984	69.6

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 250,899百万円 2024年3月期 232,224百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	44.00	—	44.00	88.00
2025年3月期	—	50.00			
2025年3月期（予想）			—	50.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	12.2	24,000	125.8	24,300	110.6	17,000	224.2	248.44

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	76,688,740株	2024年3月期	76,688,740株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	8,261,009株	2024年3月期	8,285,231株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	68,417,958株	2024年3月期中間期	68,387,541株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・ 2024年5月8日に公表いたしました通期連結業績予想は修正しております。詳細につきましては、【添付資料】4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・ 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- ・ 決算補足説明資料は、本日、当社ホームページ (<https://www.lintec.co.jp>) に掲載する予定です。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当中間期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社グループの当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は半導体・電子部品関連製品が好調な需要に支えられ大幅に回復したことに加え、米国においてシール・ラベル用粘着製品の販売数量が増加したことなどもあり総じて好調に推移しました。利益面においては、原燃料価格の高止まり影響があったものの、半導体・電子部品関連製品に加えて他の製品についても販売数量が増加し、それによる生産設備の稼働率が大きく改善した効果もありました。

以上の結果、売上高は158,476百万円（前年同期比20.3%増）、営業利益は13,687百万円（同329.1%増）、経常利益は14,266百万円（同231.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は10,814百万円（同449.9%増）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

（印刷材・産業工材関連）

	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	百万円 81,439	百万円 92,434	百万円 10,994	% 13.5
印刷・情報材事業部門	64,076	73,541	9,464	14.8
産業工材事業部門	17,363	18,893	1,530	8.8
営業利益又は営業損失（△）	△776	3,558	4,335	—

当セグメントの売上高は販売数量の増加や円安効果により92,434百万円（前年同期比13.5%増）となりました。利益面については米国で販売数量が大幅に増加したことなどもあり営業利益は3,558百万円（同一%）となりました。

当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

<印刷・情報材事業部門>

シール・ラベル用粘着製品は、国内では物流・通販向けが堅調に推移したものの、物価高騰の影響により食品関連を中心に需要が減少したほか、アイキャッチラベルや飲料キャンペーン用など総じて低調に推移しました。海外では米国で買収効果により販売数量が大幅に増加したほか、中国、アセアン地域においても堅調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は73,541百万円（前年同期比14.8%増）となりました。

<産業工材事業部門>

国内では自動車用ウインドーフィルムが自動車生産台数減少の影響を受け低調に推移しました。海外において米国では建物用ウインドーフィルムが増加したほか、インドで自動車用粘着製品が増加しました。この結果、当事業部門の売上高は18,893百万円（前年同期比8.8%増）となりました。

（電子・光学関連）

	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	百万円 33,696	百万円 48,146	百万円 14,450	% 42.9
アドバンストマテリアルズ事業部門	26,722	41,655	14,933	55.9
オプティカル材事業部門	6,974	6,491	△483	△6.9
営業利益	4,304	9,485	5,180	120.3

当セグメントの売上高は光学ディスプレイ関連粘着製品は低調に推移しましたが、半導体・電子部品関連製品の売上高が大幅に回復したことにより48,146百万円（前年同期比42.9%増）となりました。利益面については半導体・電子部品関連製品の販売数量が増加したことにより営業利益は9,485百万円（同120.3%増）となりました。

当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

＜アドバンストマテリアルズ事業部門＞

半導体関連粘着テープはスマートフォン用などの需要増加により好調に推移しました。また、半導体関連装置についてもHBM製造用で大幅に増加しました。積層セラミックコンデンサ関連テープはスマートフォンやデータセンター向けなどの需要増加により大きく伸長しました。この結果、当事業部門の売上高は41,655百万円（前年同期比55.9%増）となりました。

＜オプティカル材事業部門＞

光学ディスプレイ関連粘着製品は大型テレビ用やスマートフォン向けで受注が減少しました。この結果、当事業部門の売上高は6,491百万円（前年同期比6.9%減）となりました。

（洋紙・加工材関連）

	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	百万円 16,598	百万円 17,894	百万円 1,295	% 7.8
洋紙事業部門	7,894	7,584	△310	△3.9
加工材事業部門	8,704	10,310	1,606	18.5
営業利益又は営業損失（△）	△372	615	987	—

当セグメントの売上高は洋紙事業部門でカラー封筒用紙の需要が減少しましたが、加工材事業部門において販売数量が大幅に増加したことにより17,894百万円（前年同期比7.8%増）となりました。利益面については加工材事業部門の販売数量増加などにより営業利益は615百万円（同一%）となりました。

当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

＜洋紙事業部門＞

耐油耐水紙は前年同期並みであったものの、主力のカラー封筒用紙や色画用紙、建材用紙が需要減少により低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は7,584百万円（前年同期比3.9%減）となりました。

＜加工材事業部門＞

電子材料用剥離紙や光学関連製品用剥離フィルムがスマートフォン用などの需要増加により好調に推移したほか、合成皮革用工程紙や炭素繊維複合材料用工程紙も大幅に増加しました。この結果、当事業部門の売上高は10,310百万円（前年同期比18.5%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末の総資産は346,953百万円となり、前連結会計年度末に比べて13,310百万円の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「現金及び預金」の減少	△2,480百万円
・「受取手形、売掛金及び契約資産」の増加	4,459百万円
・「棚卸資産」の増加	6,144百万円
・「流動資産その他」の減少	△1,665百万円
・「有形固定資産」の増加	6,990百万円

(負債)

当中間連結会計期間末の負債は95,249百万円となり、前連結会計年度末に比べて5,408百万円の減少となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「支払手形及び買掛金」の減少	△3,253百万円
・「短期借入金」の減少	△1,100百万円
・「未払法人税等」の増加	1,571百万円
・「流動負債その他」の減少	△1,730百万円
・「長期借入金」の減少	△1,235百万円

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は251,703百万円となり、前連結会計年度末に比べて18,719百万円の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「利益剰余金」の増加	7,804百万円
・「為替換算調整勘定」の増加	10,972百万円

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績につきましては、原燃料価格の高止まり影響があるものの、半導体・電子部品関連製品が好調な需要に支えられ当初想定を大きく上回り、加えて他の製品も受注が回復すると見込んでいます。

このような状況を勘案し、2024年5月8日に公表いたしました通期連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

2025年3月期通期連結業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	290,000	18,000	18,000	13,000
今回修正予想 (B)	310,000	24,000	24,300	17,000
増減額 (B - A)	20,000	6,000	6,300	4,000
増減率 (%)	6.9	33.3	35.0	30.8
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	276,321	10,628	11,537	5,243

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向および計画などに基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,490	53,009
受取手形、売掛金及び契約資産	64,764	69,224
棚卸資産	59,548	65,692
その他	8,354	6,689
貸倒引当金	△181	△181
流動資産合計	187,977	194,435
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	48,178	49,571
機械装置及び運搬具 (純額)	39,995	41,645
土地	13,238	13,538
建設仮勘定	5,008	7,829
その他 (純額)	7,704	8,530
有形固定資産合計	114,125	121,116
無形固定資産		
のれん	15,064	14,584
その他	3,234	3,335
無形固定資産合計	18,299	17,920
投資その他の資産		
その他	13,328	13,570
貸倒引当金	△89	△89
投資その他の資産合計	13,239	13,481
固定資産合計	145,664	152,517
資産合計	333,642	346,953

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,705	42,451
短期借入金	1,400	300
1年内返済予定の長期借入金	1,974	1,753
未払法人税等	1,975	3,547
賞与引当金	2,395	2,415
役員賞与引当金	52	28
関係会社整理損失引当金	1,147	267
製品保証引当金	254	98
その他	21,012	19,282
流動負債合計	75,918	70,144
固定負債		
長期借入金	5,888	4,653
環境対策引当金	111	111
退職給付に係る負債	13,667	14,048
その他	5,072	6,291
固定負債合計	24,739	25,104
負債合計	100,657	95,249
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,355	23,355
資本剰余金	26,700	26,725
利益剰余金	170,796	178,600
自己株式	△17,568	△17,517
株主資本合計	203,283	211,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	607	485
為替換算調整勘定	25,694	36,667
退職給付に係る調整累計額	2,639	2,580
その他の包括利益累計額合計	28,941	39,734
新株予約権	56	54
非支配株主持分	703	749
純資産合計	232,984	251,703
負債純資産合計	333,642	346,953

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	131,735	158,476
売上原価	103,914	117,306
売上総利益	27,821	41,169
販売費及び一般管理費	24,631	27,482
営業利益	3,190	13,687
営業外収益		
受取利息	208	358
受取配当金	159	271
固定資産売却益	8	71
為替差益	1,011	-
受取保険金	16	62
その他	170	153
営業外収益合計	1,575	918
営業外費用		
支払利息	185	217
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	190	50
為替差損	-	16
支払補償費	3	6
その他	86	48
営業外費用合計	465	338
経常利益	4,299	14,266
特別利益		
投資有価証券売却益	-	224
固定資産売却益	29	59
特別利益合計	29	284
税金等調整前中間純利益	4,328	14,550
法人税、住民税及び事業税	2,283	4,095
法人税等調整額	67	△362
法人税等合計	2,350	3,733
中間純利益	1,978	10,817
非支配株主に帰属する中間純利益	11	2
親会社株主に帰属する中間純利益	1,966	10,814

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,978	10,817
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100	△121
為替換算調整勘定	8,174	11,016
退職給付に係る調整額	27	△58
その他の包括利益合計	8,302	10,836
中間包括利益	10,280	21,654
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	10,237	21,607
非支配株主に係る中間包括利益	42	46

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷材・産業 工材関連	電子・光学 関連	洋紙・加工 材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	81,439	33,696	16,598	131,735	—	131,735
セグメント間の 内部売上高又は振替高	42	7	7,222	7,272	△7,272	—
計	81,482	33,704	23,821	139,007	△7,272	131,735
セグメント利益又は損失(△)	△776	4,304	△372	3,155	34	3,190

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。

2 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷材・産業 工材関連	電子・光学 関連	洋紙・加工 材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	92,434	48,146	17,894	158,476	—	158,476
セグメント間の 内部売上高又は振替高	36	6	7,200	7,243	△7,243	—
計	92,471	48,153	25,095	165,719	△7,243	158,476
セグメント利益	3,558	9,485	615	13,659	27	13,687

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(自己株式の消却)

当社は、本日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却を行うことを決議いたしました。

- | | |
|--------------|---------------------------------------|
| 1. 消却する理由 | 株主還元の充実および資本効率の向上を図るため |
| 2. 消却する株式の種類 | 当社普通株式 |
| 3. 消却する株式の数 | 4,200,000株
(消却前の発行済株式総数に対する割合5.4%) |
| 4. 消却予定日 | 2024年11月29日 |

(ご参考)

消却後の発行済株式総数	72,488,740株
-------------	-------------

消却後の自己株式数	4,061,009株
-----------	------------

(注)消却後の自己株式数は2024年9月30日現在の自己株式数を基準に算出しております。